参考様式４－１

**第　　号　研修実施計画**

≪基本研修（講義）≫

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日程 | 時間 | 項目 | 担当講師 |
| 1日目 | 9：30～11：00 | 第１章 | **人間と社会**(1)介護職と医療的ケア(0.5)(2)介護福祉士等が喀痰吸引等を行うことに係る制度(1.0) |  |
| 11：10～14：00 | 第２章 | **保健医療制度とチーム医療**(1)保健医療に関する制度(1.0)(2)医療的行為に関係する法律(0.5)(3)チーム医療と介護職との連携(0.5)　　〈休憩50分含む〉 |  |
| 2日目 | 10：00～15：00 | 第３章 | **安全な療養生活**(1)喀痰吸引や経管栄養の安全な実施(2.0)(2)救急蘇生法(2.0) 〈休憩60分含む〉 |  |
| 3日目 | 10：00～12：40 | 第４章 | **清潔保持と感染予防**(1)感染予防(0.5)(2)職員の感染予防(0.5)(3)療養環境の清潔、消毒法(0.5)(4)滅菌と消毒(1.0)〈休憩10分含む〉 |  |
| 4日目 | 9：00～12：20 | 第５章 | **健康状態の把握**(1)身体・精神の健康(1.0)(2)健康状態を知る項目（バイタルサインなど）(1.5)(3)急変状態について(0.5)〈休憩20分含む〉 |  |
| 5日目 | 9：00～15：40 | 第6章 | **高齢者及び障害児・者の「喀痰吸引」概論①**1. 呼吸のしくみと働き(1.5)
2. いつもと違う呼吸状態(1.0)
3. 喀痰吸引とは(1.0)
4. 人工呼吸器と吸引(2.0)

〈休憩70分含む〉 |  |
| 6日目 | 9：00～15：40 | 第6章 | **高齢者及び障害児・者の「喀痰吸引」概論②**(5) 子どもの吸引について(1.0)(6) 吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意(0.5)(7) 呼吸器系の感染と予防（吸引と関連して）(1.0)1. 喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認(1.0)
2. 急変・事故発生時の対応と事前対策(2.0)

〈休憩70分含む〉 |  |
| 7日目 | 9：00～16：00 | 第7章 | **高齢者及び障害児・者の「喀痰吸引」実施手順解説①**1. 喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持(1.0)
2. 吸引の技術と留意点(5.0)

〈休憩60分含む〉 |  |
| 8日目 | 10：00～14：30 | 第7章第8章 | **高齢者及び障害児・者の「喀痰吸引」実施手順解説②**(3)喀痰吸引にともなうケア(1.0)(4)報告および記録(1.0)**高齢者及び障害児・者の「経管栄養」概論①**1. 消化器系のしくみとはたらき(1.5)

〈休憩60分含む〉 |  |
| 9日目 | 10：00～　15：00 | 第8章 | **高齢者及び障害児・者の「経管栄養」概論②**(2)消化・吸収とよくある消化器の症状(1.0)(3)経管栄養法とは(1.0)(4)注入する内容に関する知識(1.0)(5)経管栄養実施上の留意点(1.0)〈休憩60分含む〉 |  |
| 10日目 | 10：00～15：30 | 第8章 | **高齢者及び障害児・者の「経管栄養」概論③**(6)子どもの経管栄養(1.0)(7)経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意(0.5)(8)経管栄養に関係する感染と予防(1.0)(9)経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認(1.0)(10)急変・事故発生時の対応と事前対策(1.0)〈休憩60分含む〉 |  |
| 11日目 | 9：00～16：00 | 第9章 | **高齢者及び障害児・者の「経管栄養」実施手順解説①**1. 経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持(1.0)
2. 経管栄養の技術と留意点(5.0)

〈休憩60分含む〉 |  |
| 12日目 | 10：00～12：00 | 第9章 | **高齢者及び障害児・者の「経管栄養」実施手順解説②**1. 経管栄養にともなうケア(1.0)
2. 報告および記録(1.0)
 |  |
| 13:00～14:00 | ― | 筆記試験 |  |

≪基本研修（演習）≫

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日　程 | 時 間 | 項　目 | 担当講師 |
| 〇日目 | 8：30～10：00 | グループＡ（〇名）、グループＢ（〇名）共通〇救急蘇生法 |  |
| 〇日目 | 10：00～17：00 | グループＡ（〇名）〇口腔内の喀痰吸引　５回以上〇鼻腔内の喀痰吸引　５回以上〇気管カニューレ内部の喀痰吸引　５回以上〇胃ろう又は腸ろうによる経管栄養（滴下型）　５回以上〇胃ろう又は腸ろうによる経管栄養（半固形の栄養剤）　〇回以上〇経鼻経管栄養　５回以上 |  |
| △日目 | 9：00～16：00 | グループＢ（〇名）〇口腔内の喀痰吸引　５回以上〇鼻腔内の喀痰吸引　５回以上〇気管カニューレ内部の喀痰吸引　５回以上〇胃ろう又は腸ろうによる経管栄養（滴下型）　５回以上〇胃ろう又は腸ろうによる経管栄養（半固形の栄養剤）　〇回以上〇経鼻経管栄養　５回以上 |  |

≪実地研修≫

【実施場所　　　　　　　　　　　　　　　（受講者　　名）】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日　程 | 時 間 | 項　目 | 担当講師 |
| □日目以降 | 8：30～ | ○口腔内の喀痰吸引　１０回以上○鼻腔内の喀痰吸引　２０回以上○胃ろう又は腸ろうによる経管栄養（滴下型）　２０回以上○胃ろう又は腸ろうによる経管栄養（半固形の栄養剤）　　回以上○経鼻経管栄養　２０回以上 |  |

【実施場所　　　　　　　　　　　　　　　（受講者　　名）】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日　程 | 時 間 | 項　目 | 担当講師 |
| □日目以降 | 8：30～ | ○口腔内の喀痰吸引　１０回以上○鼻腔内の喀痰吸引　２０回以上○胃ろう又は腸ろうによる経管栄養（滴下型）　２０回以上○胃ろう又は腸ろうによる経管栄養（半固形の栄養剤）　　回以上○経鼻経管栄養　２０回以上 |  |